



(千葉県立中央博物館展示
模型)

左：「大和橋町より見たる市場通り」
正面に千葉教会堂の尖塔・鐘楼が
見えます。現存建物(P 3参照)では
失われていますが、県立中央博物
館の展示模型で復元されています。

右：「法華塚停車場」
貨車に県徽章があり、県営鉄道で
あることを示しています。

(左右とも)
明治末～大正初期頃《千葉県立房総
のむら蔵(山中コレクション)》



トピックス「絵葉書ブーム」



神田郵便局に絵葉書を求めて押し寄せた群衆の様子
を示す絵葉書 明治39(1906)年《個人蔵》

日露戦争が始まると、国(通信省)はその様子を伝える絵葉書をシリーズで発行し、大変な人気を博しました。特に奉天会戦(明治39(1906)年3月)以後、日本は戦勝ムードに大いに盛り上がっていきました。

そのような状況の下、第5回目の発行日である明治39(1906)年5月6日において、発売所となる郵便局には深夜より群衆が押し寄せ大混乱となりました。特に東京の神田郵便局では、暴動にまで発展し、多くのけが人が出て、午前6時には販売の中止が決定されました(『通信事業史 第二巻』昭和15(1940)年通信省編)。

5 明治時代～大正時代初期に開業した県内の写真館

明治時代から大正時代初期に開業し、創業100年を超える県内の写真館は、惜しくも最近閉館してしまったところも含め、10館ほど確認されています。近年のデジタル化や少子化等は、写真館にとって厳しい現実であり、その数を徐々に減らす要因となっています。

しかし、とっておきの記念写真は、プロの腕で撮ってもらうとひと味もふた味も違います。明治時代以降、多くの写真師たちの思いを受け継いでいる写真館を地域の宝として大切にしていきたいものです。